

一般社団法人 日本音楽作家団体協議会 御中


音楽作家の実態・意識把握調査

【報告書 2 / 3 _総括】

2022/02/03

株式会社クロス・マーケティング





クロス集計 総括

クロス集計 総括

①回答者の属性・傾向 (F1, Q1~5) 1 / 2

年代：

回答者のうちFCA加盟者は60代以上で7割を占めているのに対し、非加盟者は40代以下で7割を占めている。(グラフ1の枠参照)

【グラフ1：回答者の年代】

		n=							
		30歳未満	30歳~39歳	40歳~49歳	50歳~59歳	60歳~69歳	70歳~79歳	80歳~89歳	90歳以上
全体	809	3.7	10.3	14.1	14.3	21.9	24.5	10.3	1.0
FCA加盟	FCA加盟者 683	2.5	7.2	10.1	13.3	24.7	28.8	12.2	1.2
非加盟	FCA非加盟者 123	10.6	27.6	36.6	17.9	6.5	0.8		

創作活動の仕方：

回答者のうちFCA加盟者では「フリーランス」が83.8%と非加盟者に比べて15pt以上高い一方で、「会社・団体等に所属してマネジメント料を支払って活動をしている」が6.8%と、非加盟者に比べて15pt以上低い。(グラフ2の枠参照)

年代別で見ると、年代が高くなるほど「フリーランス」の割合が高くなる傾向。(グラフ2の矢印参照)

一方で、年代が低くなるほど「会社・団体等に所属してマネジメント料を支払って活動をしている」の割合が高くなる傾向。

【グラフ2：回答者の創作活動の仕方】

		n=				
		フリーランスとして活動している	レコード・映像・ゲーム等の製作会社や音楽事務所、その他の会社・団体等に雇用されて給与を得て活動している	レコード・映像・ゲーム等の製作会社や音楽事務所、その他の会社・団体等に所属してマネジメント料を支払って活動している	レコード・映像・ゲーム等の製作会社や音楽事務所、その他の会社・団体等を経営している	
全体	768	80.9	2.9	9.4	6.9	
FCA加盟	FCA加盟者 643	83.8	3.0	6.8	6.4	
非加盟	FCA非加盟者 122	65.6	2.5	22.1	9.8	
年代	30代未満	30	56.7	16.7	23.3	3.3
	30代	82	70.7	1.2	25.6	2.4
	40代	113	63.7	1.8	17.7	16.8
	50代	114	82.5	4.4	8.8	4.4
	60代	172	86.0	4.1	1.7	8.1
	70代	177	91.0	0.6	4.0	4.5
	80代	69	88.4	5.8	5.8	
	90代以上	6	83.3	16.7		

※n=30未満は参考値のため灰色。

クロス集計 総括

①回答者の属性・傾向 (F1, Q1~5) 2 / 2

総収入に占める創作活動の収入の割合：

回答者のうちFCA加盟者の7割は創作活動以外の収入が50%以上あるのに対し、非加盟者の7割は創作活動以外の収入が50%未満となっている。
(グラフ3の枠参照)

年代が若いほど創作活動から得る収入の割合が大きくなり、高い年代に比べて、音楽創作活動以外で収入を得る手段が限られていることが推測される。
(グラフ3の矢印参照)

【グラフ3：回答者の総収入に占める創作活動の割合】

		(%)					
			75%以上~100%	50%以上~75%未満	25%以上~50%未満	0%以上~25%未満	
n=							
全体	764	22.1	12.6	15.8	49.5		
FCA加盟	642	17.3	11.7	15.6	55.5		
非加盟	119	47.1		17.6	16.8	18.5	
年代	30代未満	30	40.0		10.0	26.7	23.3
	30代	81	34.6		18.5	19.8	27.2
	40代	111	40.5		15.3	18.0	26.1
	50代	111	25.2		17.1	11.7	45.9
	60代	167	15.0	11.4	17.4	56.3	
	70代	183	12.6	8.7	12.6	66.1	
	80代	70	7.1	10.0	15.7	67.1	
	90代以上	6	16.7		83.3		

※n=30未満は参考値のため灰色。

クロス集計 総括

②音楽活動を続けるうえで感じている不安・必要なこと (Q6~9) 1/2

回答者の半数以上が「いざという時の金銭的な補償制度が無い」ことに不安を感じている。(グラフ4の枠①参照)

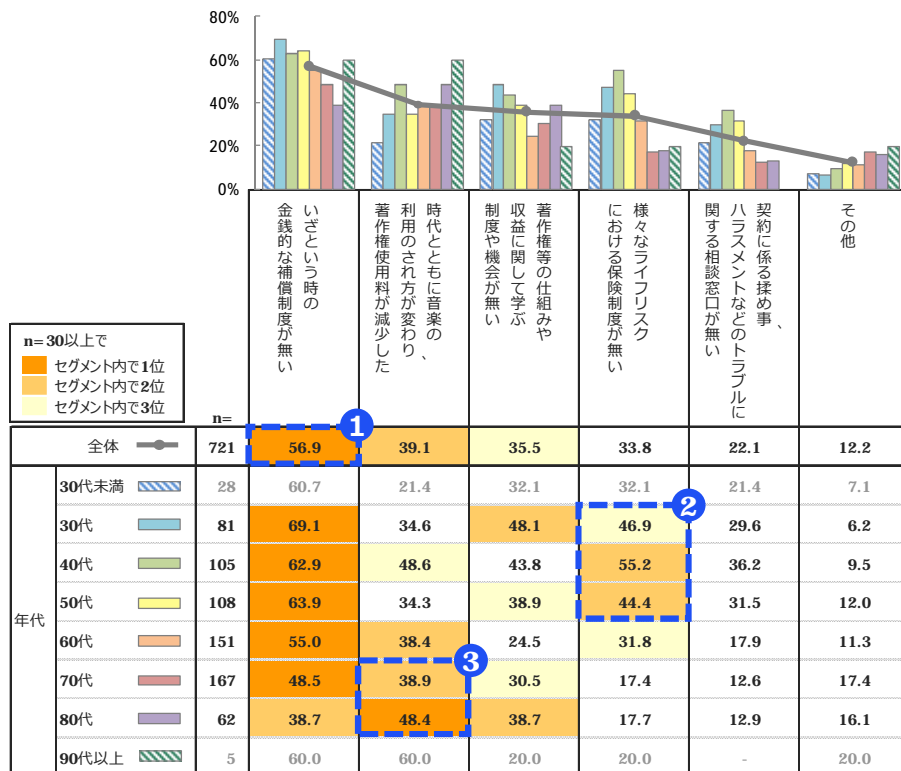
回答者の4割以上が「音楽に関わる活動に対する行政などからの金銭的なサポート」が音楽活動を続けるうえで必要と回答している。(グラフ5の枠①参照)

30-50代では、「様々なライフリスクにおける保険制度が無い」ことにも不安を感じており、「行政などからの金銭的なサポート」

「(仕事が失われた場合の)一時的に生活を保障するセーフティネットの構築」といった生活を保障する具体的な制度を求めている。(グラフ4、グラフ5の枠②参照)

一方で、70・80代では、「(時代の変化とともに、)著作権使用料が減少した」ことにより不安を感じ、「音楽活動を維持・継続するための情報提供」を求めていることから、変わっていく活動環境の情報を収集しきれていないと推測される。(グラフ4、グラフ5の枠③参照)

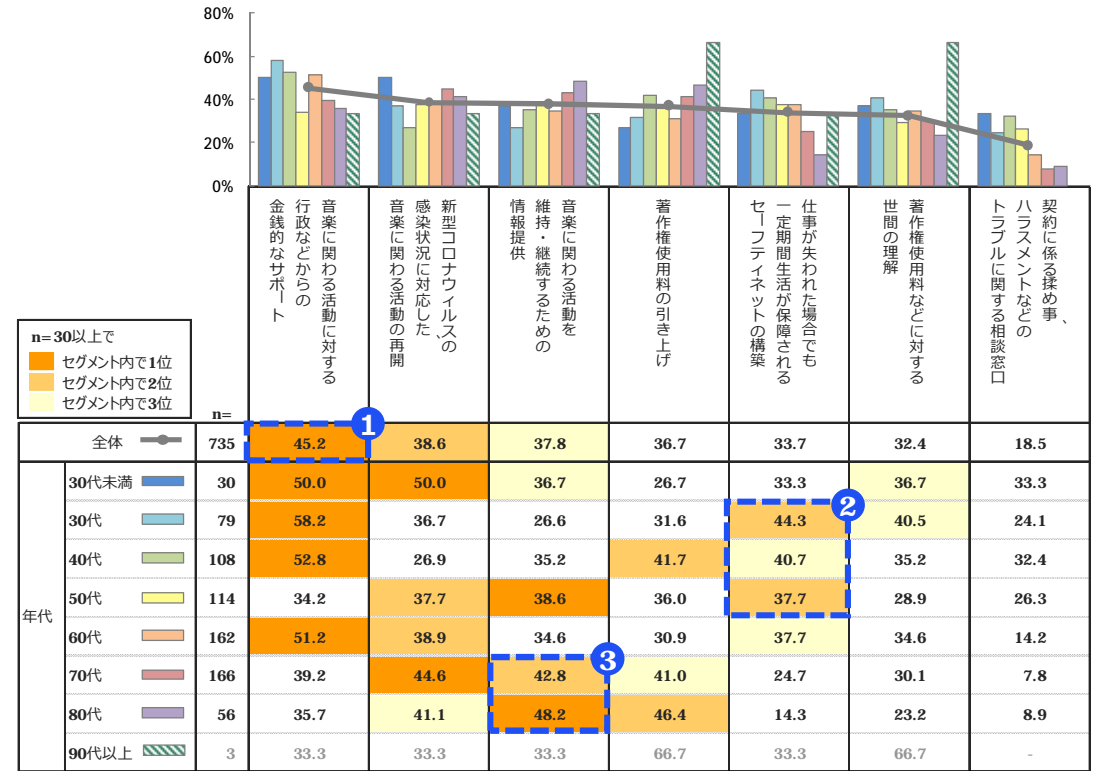
【グラフ4：音楽を続けるうえで感じている不安（年代別）】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色。グラフでは斜線。

※全体の値を基準に降順並び替え(その他を除く)

【グラフ5：音楽を続けるうえで必要なこと（年代別）】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色。グラフでは斜線。

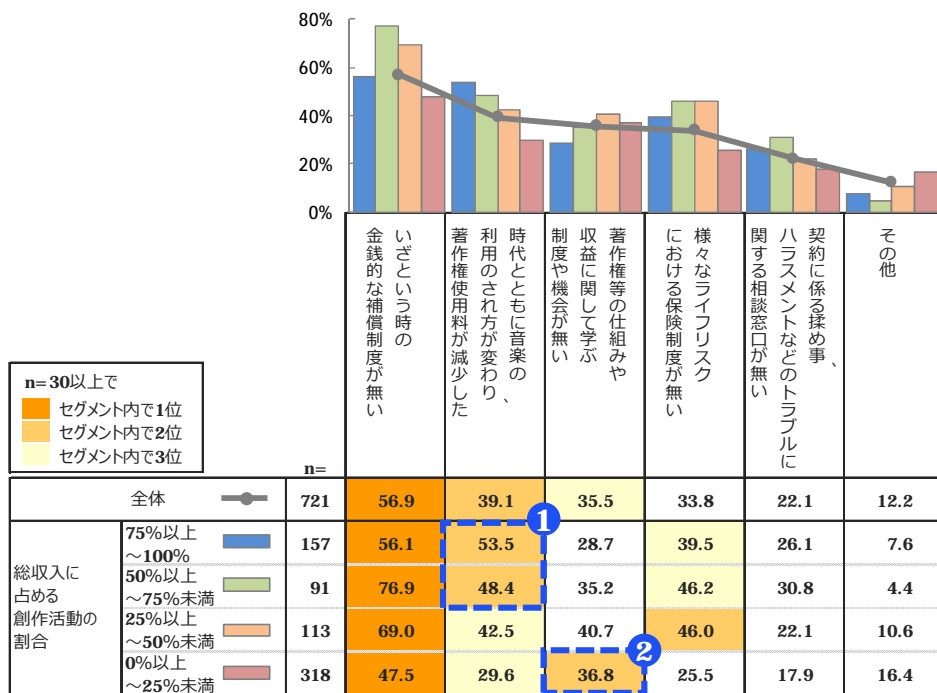
※全体の値を基準に降順並び替え

クロス集計 総括

②音楽活動を続けるうえで感じている不安・必要なこと (Q6~9) 2 / 2

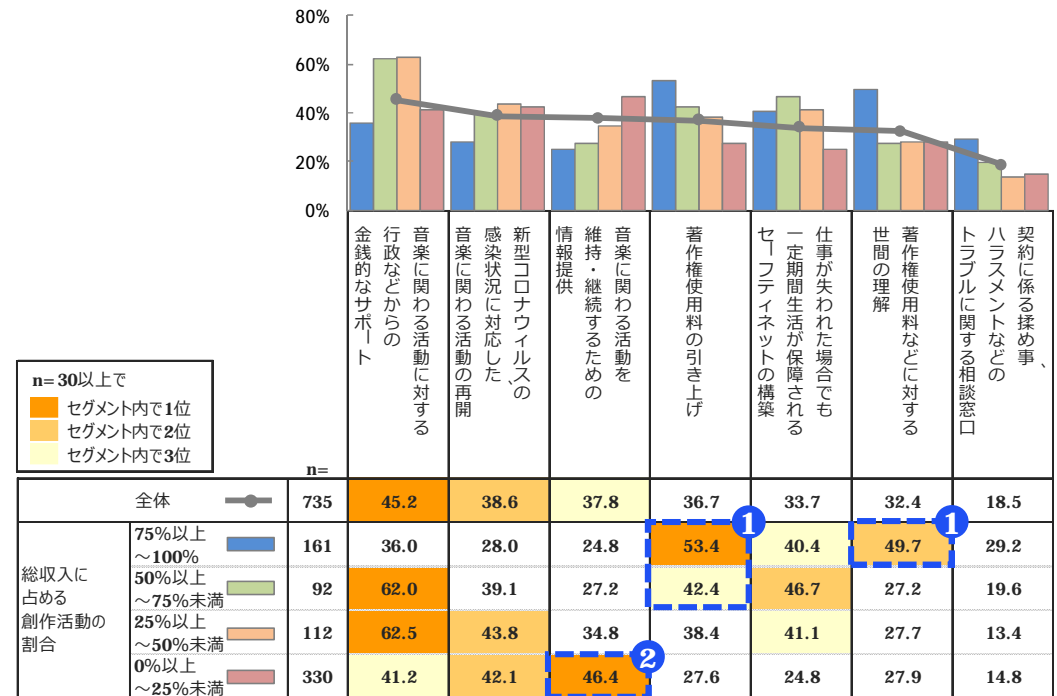
総収入に占める音楽創作活動の割合が高い人ほど、「(時代の変化とともに、)著作権使用料が減少した」ことに不安を感じており、「著作権使用料の引き上げ」「著作権使用料などに対する世間の理解」といった一時的な施策・政策の枠を超えた、**著作権使用料に関する活動環境の改善**を求めている傾向が見られる。(グラフ6、グラフ7の枠①参照)
一方で、総収入内の音楽創作活動の割合が低いほど、「著作権等の仕組みや収益に関して学ぶ制度や機会が無い」ことに不安を感じている傾向があり、「音楽に関わる活動を維持・継続するための情報提供」を求めている。(グラフ6、グラフ7の枠②参照)

【グラフ6：音楽を続けるうえで感じている不安 (総収入に占める創作活動の割合別)】



※全体の値を基準に降順並び替え(その他を除く)

【グラフ7：音楽を続けるうえで必要なこと (総収入に占める創作活動の割合別)】



※全体の値を基準に降順並び替え

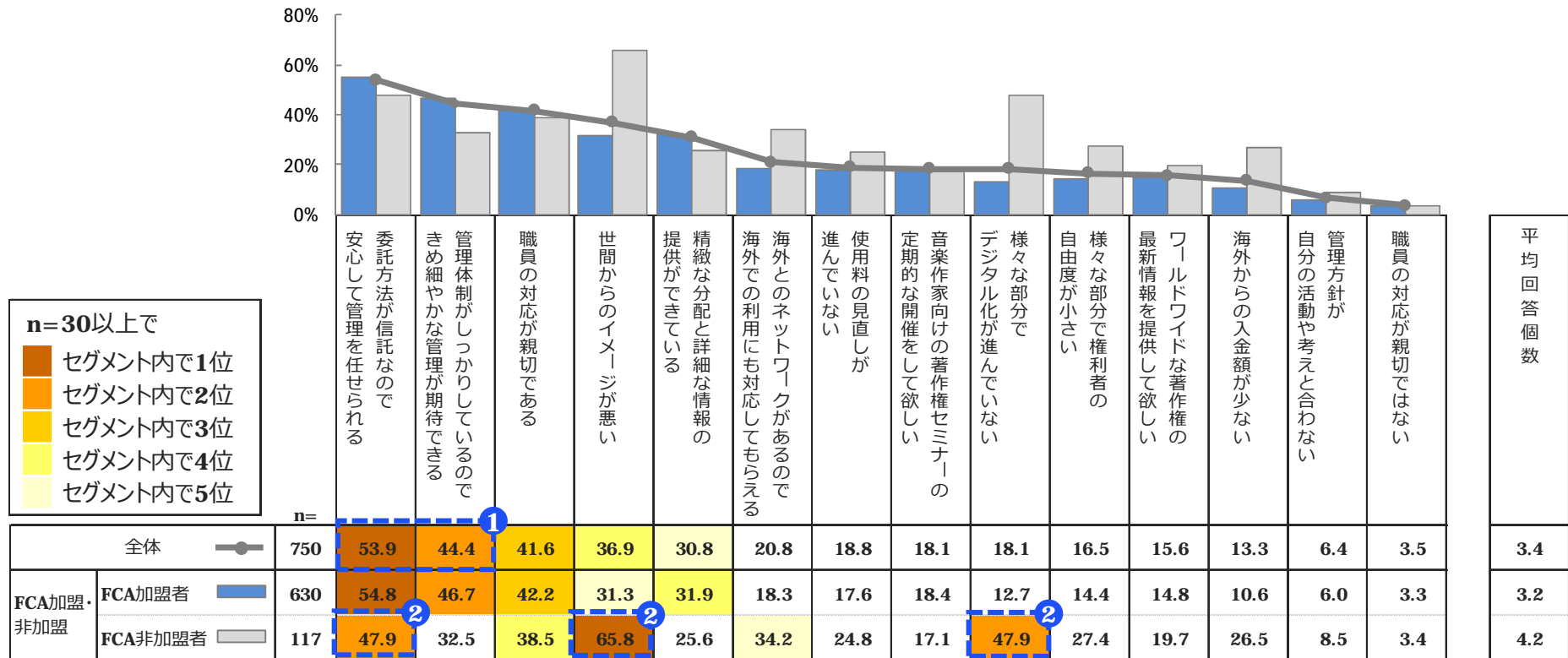
クロス集計 総括

③JASRACについて (Q10) 1 / 2

JASRACに感じていることについて、回答者全体で見ると「委託方法が信託なので安心して管理を任せられる」が**53.9%**と最も高く、「管理体制がしっかりしているので、きめ細やかな管理が期待できる」が**44.4%**と続く。(グラフ8の枠①参照)

FCA加盟状況別に見ると、非加盟者では「世間からのイメージが悪い」(**65.8%**)が第1位、「委託方法が信託なので安心して管理を任せられる」「様々な部分でデジタル化が進んでいない」(**47.9%**)が同率第2位で、「世間からのイメージが悪い」「様々な部分でデジタル化が進んでいない」はそれぞれ加盟者に比べて**30pt**以上高く、特徴的。(グラフ8の枠②参照)

【グラフ8 : JASRACに感じていること】



※全体の値を基準に降順並び替え

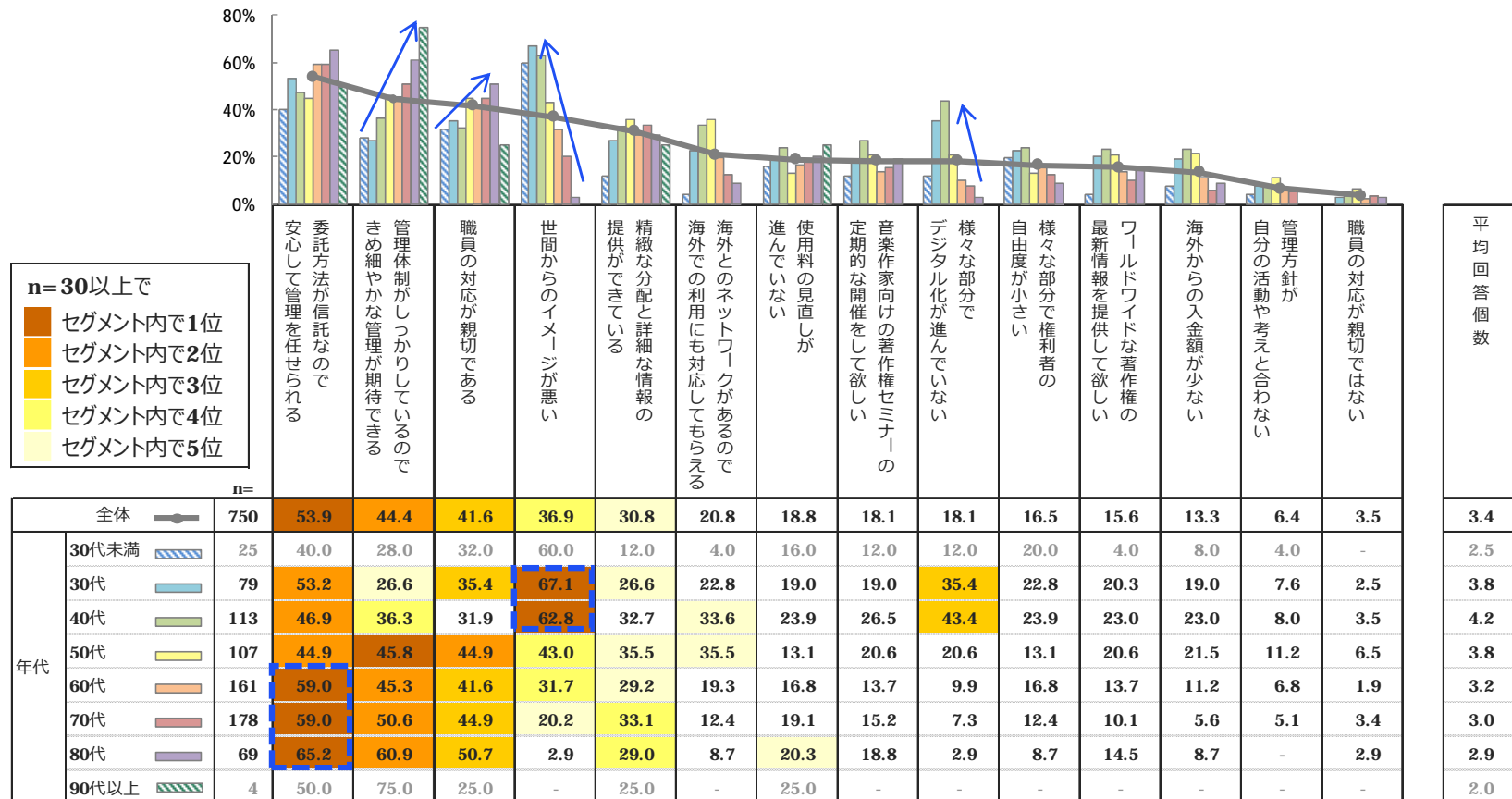
クロス集計 総括

③JASRACについて (Q10) 2 / 2

JASRACに感じていることについて、年代別で見ると、**40代以下**で「世間からのイメージが悪い」、**60代以上**で「委託方法が信託なので安心して管理を任せられる」がそれぞれ第**1位**。(グラフ9の枠参照)

年代が低くなるほど「世間からのイメージが悪い」「様々な部分でデジタル化が進んでいない」の割合が高くなる傾向。一方で、年代が高くなるほど「管理体制がしっかりしているのできめ細やかな管理が期待できる」「職員の対応が親切である」等の**ポジティブな項目**の割合が高くなる傾向。(グラフ9の矢印参照)

【グラフ9 : JASRACに感じていること】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色。グラフでは斜線。

※全体の値を基準に降順並び替え

クロス集計 総括

④音楽出版社との著作権契約について (Q11~14) 1/5

回答者の約7割が著作権契約をした作品があり、経験者のうち8割が事前に契約内容を確認してから契約書にサインをしている。(グラフ10の枠参照)
 年代が若いほど著作権契約経験者の割合、また著作権契約した作品の割合が高い傾向がある。(グラフ10、グラフ11の矢印参照)

【グラフ10：著作権契約経験】

		著作権契約をした作品がある・計				著作権契約をした作品 がある・計	
		事前に契約内容を 確認してから 契約書にサインをした	事前に契約内容を よく確認せずに 契約書にサインをした	著作権契約を したことがない	わからない・ 覚えていない		
全体		n=777	57.8	14.3	20.8	7.1	72.1
年代	30代未満	29	65.5	3.4	20.7	10.3	69.0
	30代	82	69.5	13.4	6.1	11.0	82.9
	40代	113	61.9	18.6	14.2	5.3	80.5
	50代	113	58.4	13.3	24.8	3.5	71.7
	60代	167	59.3	12.6	23.4	4.8	71.9
	70代	180	48.3	17.8	27.2	6.7	66.1
	80代	72	55.6	8.3	22.2	13.9	63.9
	90代以上	6	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0

※n=30未満は参考値のため灰色。

【グラフ11：著作権契約した
作品の割合】

		著作権契約した作品の割合					
		75%以上 ~100%	50%以上 ~75%未満	25%以上 ~50%未満	0%以上 ~25%未満	わからない	
全体		n=614	31.4	10.9	11.6	34.2	11.9
年代	30代未満	23	39.1	4.3	17.4	30.4	8.7
	30代	72	34.7	16.7	13.9	27.8	6.9
	40代	95	43.2	16.8	12.6	23.2	4.2
	50代	88	39.8	9.1	9.1	37.5	4.5
	60代	128	30.5	10.2	9.4	38.3	11.7
	70代	132	25.8	6.8	13.6	37.9	15.9
	80代	58	15.5	6.9	10.3	39.7	27.6
	90代以上	5	20.0	40.0	40.0	40.0	

※n=30未満は参考値のため灰色。

クロス集計 総括

④音楽出版社との著作権契約について (Q11~14) 2 / 5

著作権契約期間について、回答者全体で見ると、「著作権が消滅するまで」が**32.6%**、「10年」が**24.7%**であり、合わせると5割を超える。
(グラフ12の枠①参照)

FCA加盟状況別で見ると、FCA非加盟者では「10年」が**35.5%**と最も割合が高くなっている。(グラフ12の枠②参照)

年代別で見ると、50代で「著作権が消滅するまで」が**39.4%**と他の年代と比べて最も高い。(グラフ12の枠③参照)

著作権契約の最長期間が「分からない」回答者が全体で3割を超えている。契約期間の認識が疎かになっている実態が伺える。(グラフ12の枠④参照)

【グラフ12：著作権契約期間①】

		n=	著作権が消滅するまで (著作権の 存続期間中)	10年	10年未満	その他	わからない
全体		628	32.6	24.7	7.6	3.3	31.7
FCA加盟・ 非加盟	FCA加盟者	515	32.8	22.5	7.6	4.1	33.0
	FCA非加盟者	110	30.9	35.5		7.3	26.4
年代	30代未満	24	20.8	20.8	16.7	8.3	33.3
	30代	71	22.5	38.0		11.3	28.2
	40代	96	32.3	31.3	4.2	4.2	28.1
	50代	94	39.4	22.3	6.4	4.3	27.7
	60代	134	37.3	19.4	8.2	2.2	32.8
	70代	135	28.1	24.4	5.9	3.7	37.8
	80代	53	35.8	17.0	11.3	3.8	32.1
	90代以上	5	20.0	40.0			40.0

※n=30未満は参考値のため灰色。

クロス集計 総括

④音楽出版社との著作権契約について (Q11~14) 3 / 5

著作権契約期間について、創作活動の方法別に見ると、会社・団体等に所属してマネジメント料を支払って活動している方は「著作権が消滅するまで」が**46.8%**とその他の方法で活動している方に比べて**5pt**以上高い。(グラフ13の枠参照)

総収入に占める創作活動の割合別に見ると、総収入内の活動の割合が高くなるほど「著作権が消滅するまで」+「10年」の割合が高くなる。(グラフ13の矢印①参照)

著作権を契約した作品の割合別に見ると、契約した作品の割合が高くなるほど「著作権が消滅するまで」+「10年」の割合が高くなり、契約した作品の割合が低くなるほど著作権契約の最長期間が「分からない」割合が高くなる。(グラフ13の矢印②参照)

【グラフ13：著作権契約期間②】

		n=	著作権契約期間 (%)				
			著作権が消滅するまで (著作権の 存続期間中)	10年	10年未満	その他	わからない
全体		628	32.6	24.7	7.6	3.3	31.7
創作活動の 活動方法	フリーランス	467	30.8	25.5	7.1	3.6	33.0
	雇用されて給与を得て活動している	18	16.7	33.3	16.7	11.1	22.2
	所属してマネジメント料を支払って活動している	62	46.8	14.5	4.8		33.9
	経営している	47	40.4	34.0	8.5	2.1	14.9
総収入に 占める 創作活動の 割合	75%以上~100%	164	41.5	27.4	7.3	1.8	22.0
	50%以上~75%未満	84	29.8	32.1	6.0	1.2	31.0
	25%以上~50%未満	95	29.5	32.6	7.4	6.3	24.2
	0%以上~25%未満	248	29.0	19.4	8.1	3.2	40.3
著作権を 契約した 作品の割合	75%以上~100%	189	44.4	35.4	4.2	2.6	13.2
	50%以上~75%未満	67	25.4	44.8	7.5		22.4
	25%以上~50%未満	69	36.2	23.2	11.6	2.9	26.1
	0%以上~25%未満	193	32.1	18.1	11.9	5.7	32.1

※n=30未満は参考値のため灰色。

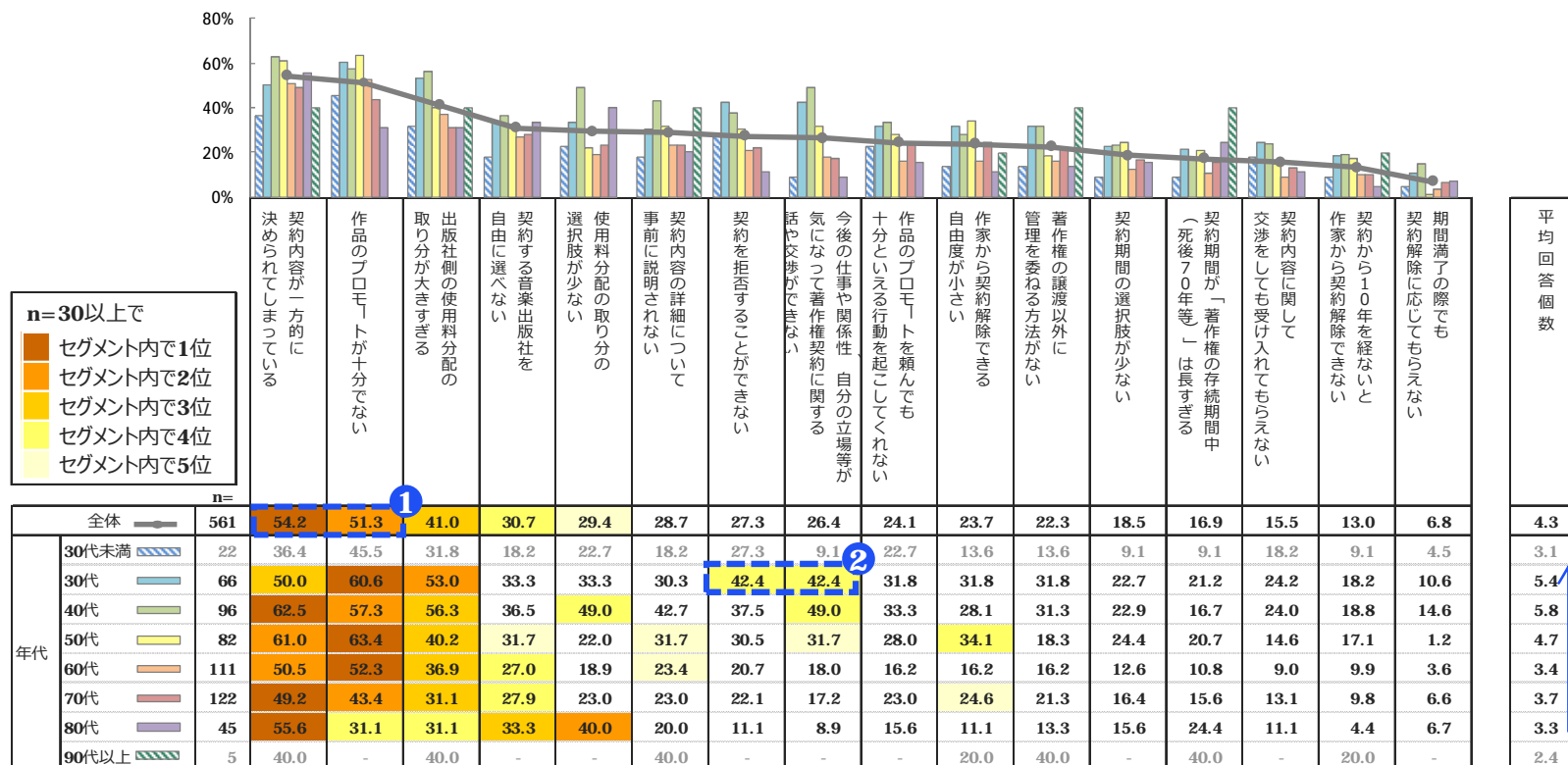
クロス集計 総括

④音楽出版社との著作権契約について (Q11~14) 4/5

回答者の半数以上が、音楽出版社との著作権契約について「契約内容が一方的に決められている」「作品のプロモートが十分でない」ことに問題を感じている。(グラフ14の枠①参照)

年代が若いほど著作権契約に感じている問題は多く(グラフ14の矢印参照)、30代を中心とした比較的若い層では「契約を拒否することができない」「今後の仕事や関係性、自分の立場等が気になって著作権契約に関する話や交渉ができない」といった自身の立場の弱さについても比較的強く問題として感じている。(グラフ14の枠②参照)

【グラフ14：音楽出版社との著作権契約について感じている問題①】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色、グラフでは斜線。

※全体の値を基準に降順並び替え

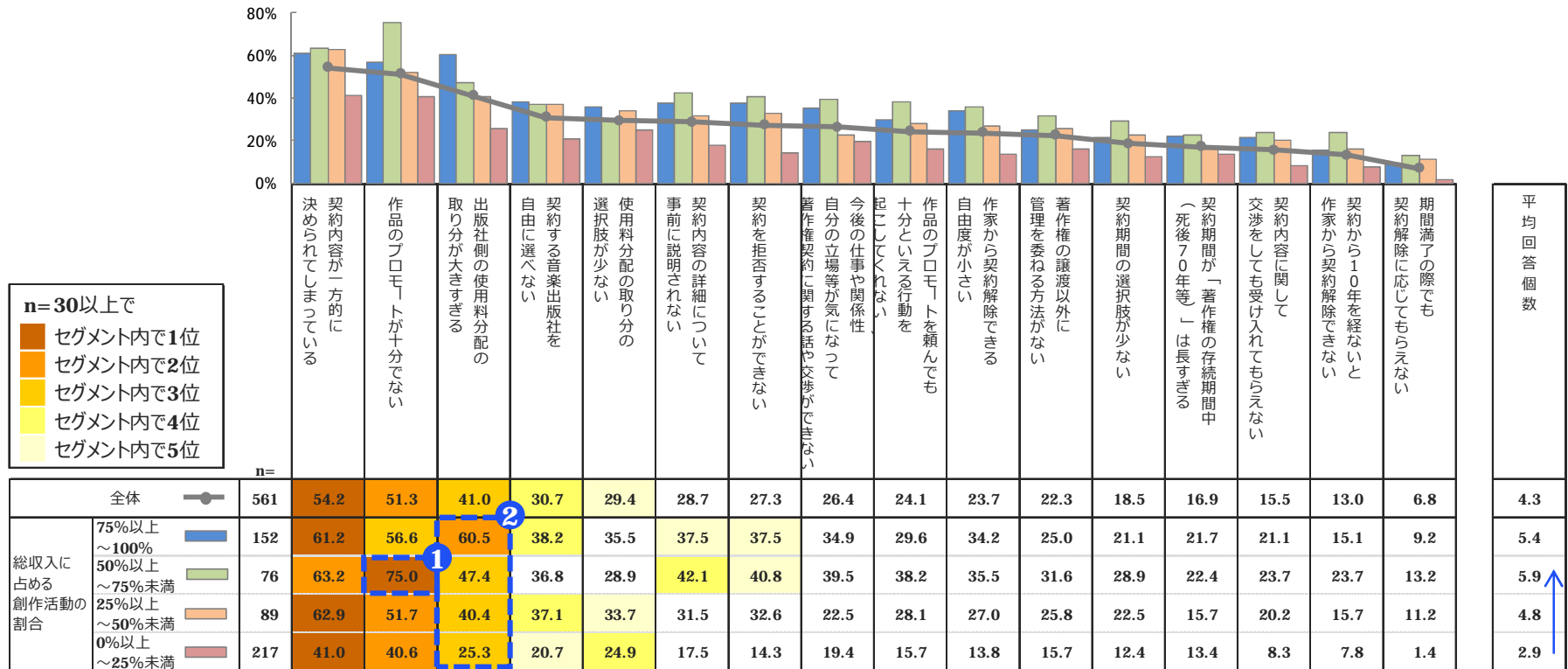
クロス集計 総括

④音楽出版社との著作権契約について (Q11~14) 5/5

著作権契約に感じていることについて、総収入に占める創作活動の割合別に見ると、総収入内の創作活動の割合が50%以上~75%未満の方で「作品のプロモートが十分でない」が最も高くなっており、特徴的。(グラフ15の枠①参照)

総収入内の創作活動の割合が高くなるほど、「出版社側の使用量分配の取り分が大きすぎる」に問題意識を持つ割合も高くなる傾向。(グラフ15の枠②参照)
 総収入に占める創作活動の割合が50%を超える方は平均回答個数が多くなっており、感じている問題が多いと推測される。(グラフ15の矢印参照)

【グラフ15：音楽出版社との著作権契約について感じている問題②】



※全体の値を基準に降順並び替え

クロス集計 総括

⑤「買取り」について (Q15~16) 1 / 2

回答者の5割弱が「買取り」の仕事に請け負ったことがあり、経験者のうち半数以上が契約書を取り交わさない買取りの仕事をしている。(グラフ16の枠参照)

年代が若いほど、「買取り」の仕事の経験者の割合が高い傾向。(グラフ16の矢印参照)

【グラフ16：「買取り」の仕事経験】

		「買取り」の仕事に請け負ったことがある・計 (%)			「買取り」の仕事に請け負ったことがある・計 (%)	
		契約書を取り交わした 買取りの仕事をしたことがある	契約書を取り交わさない 買取りの仕事をしたことがある	「買取り」の仕事に 請け負ったことはない		
n=						
全体	710	18.9	27.9	53.2	46.8	
年代	30代未満	30	33.3	26.7	40.0	60.0
	30代	81	38.3	34.6	27.2	72.8
	40代	113	30.1	44.2	25.7	74.3
	50代	109	17.4	36.7	45.9	54.1
	60代	151	13.2	23.8	62.9	37.1
	70代	158	8.9	19.6	71.5	28.5
	80代	50	8.0	6.0	86.0	14.0
	90代以上	3	33.3		66.7	33.3

※n=30未満は参考値のため灰色。

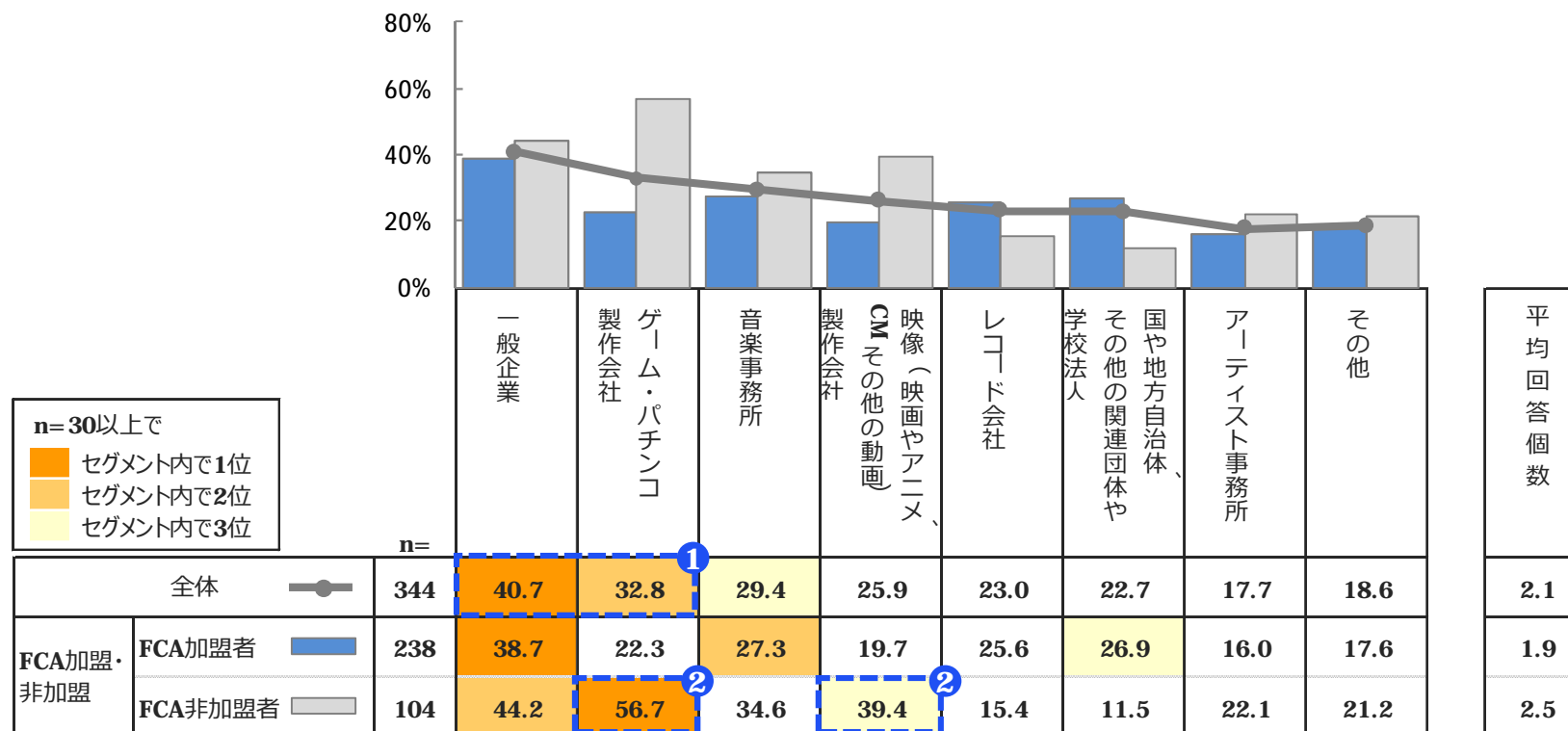
クロス集計 総括

⑤「買取り」について (Q15~16) 2 / 2

「買取り」の仕事の発注元について、回答者全体で見ると、「一般企業」が**40.7%**と最も高く、「ゲーム・パチンコ制作会社」が**32.8%**と続く。(グラフ17の枠①参照)

FCA加盟状況別で見ると、非加盟者では「ゲーム・パチンコ制作会社」(**56.7%**)が第1位で、加盟者と比べて**30pt**以上高い。また、「映像制作会社」の割合も**39.4%**と、加盟者と比べて**20pt**近く高く、特徴的。(グラフ17の枠②参照)

【グラフ17：「買取り」の仕事の発注元】



※全体の値を基準に降順並び替え(その他を除く)

クロス集計 総括

⑥楽曲コンペについて (Q17~18)

回答者の約5割が楽曲コンペに参加した経験がある。(グラフ18の枠参照)

回答者の7割以上が、楽曲コンペについて「参加しても採用されない」と何の対価も得られない」ことに問題を感じている。(グラフ19の枠①参照)

年代が若いほど楽曲コンペ参加者の割合が高い傾向がある。(グラフ18の矢印参照)

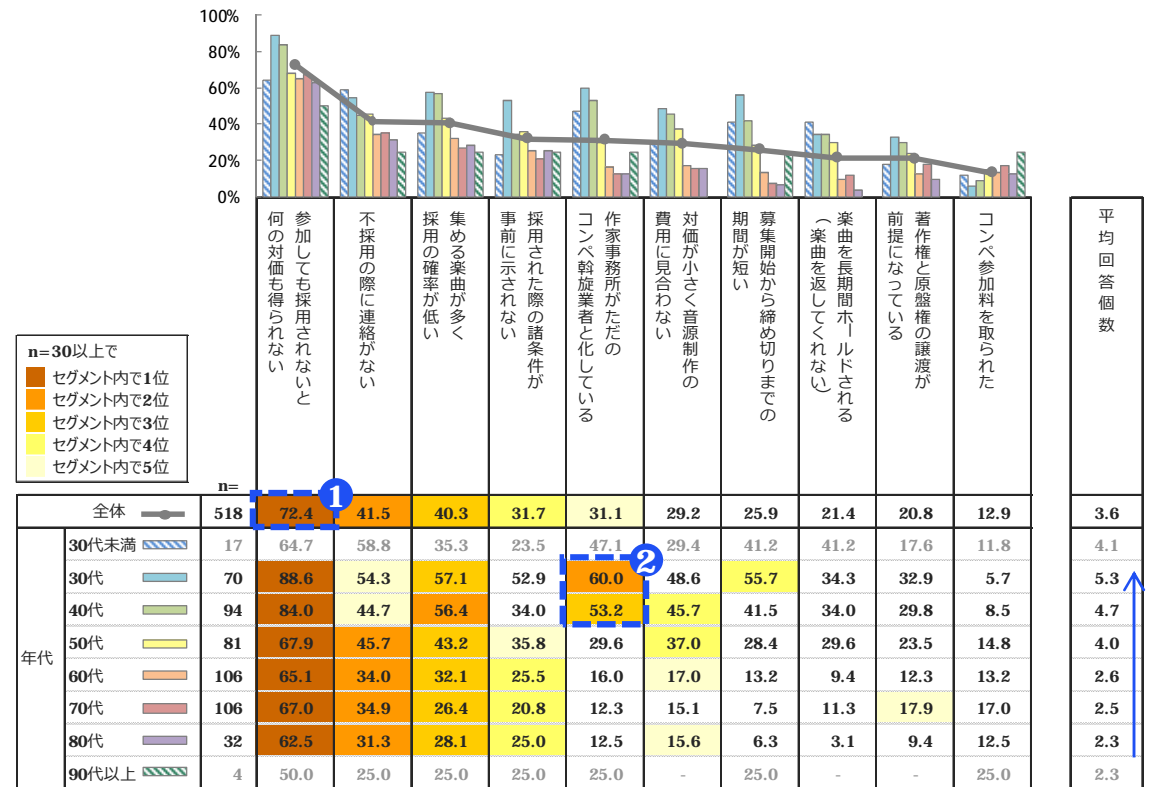
年代が若いほど楽曲コンペに感じている問題も多く(グラフ19の矢印参照)、30・40代の5割以上が、「作家事務所がただのコンペ斡旋業者と化している」状況に問題を感じており、現在の楽曲コンペの体制自体に疑問を持っている様子。(グラフ19の枠②参照)

【グラフ18：楽曲コンペ参加経験】

		n=	参加したことがある (%)	参加したことがない (%)
全体		782	56.5	43.5
年代	30代未満	30	56.7	43.3
	30代	83	75.9	24.1
	40代	112	75.9	24.1
	50代	116	61.2	38.8
	60代	168	50.0	50.0
	70代	183	47.0	53.0
	80代	70	35.7	64.3
	90代以上	6	33.3	66.7

※n=30未満は参考値のため灰色。

【グラフ19：楽曲コンペに感じる問題】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色。グラフでは斜線。

※全体のTOP10のみ表示

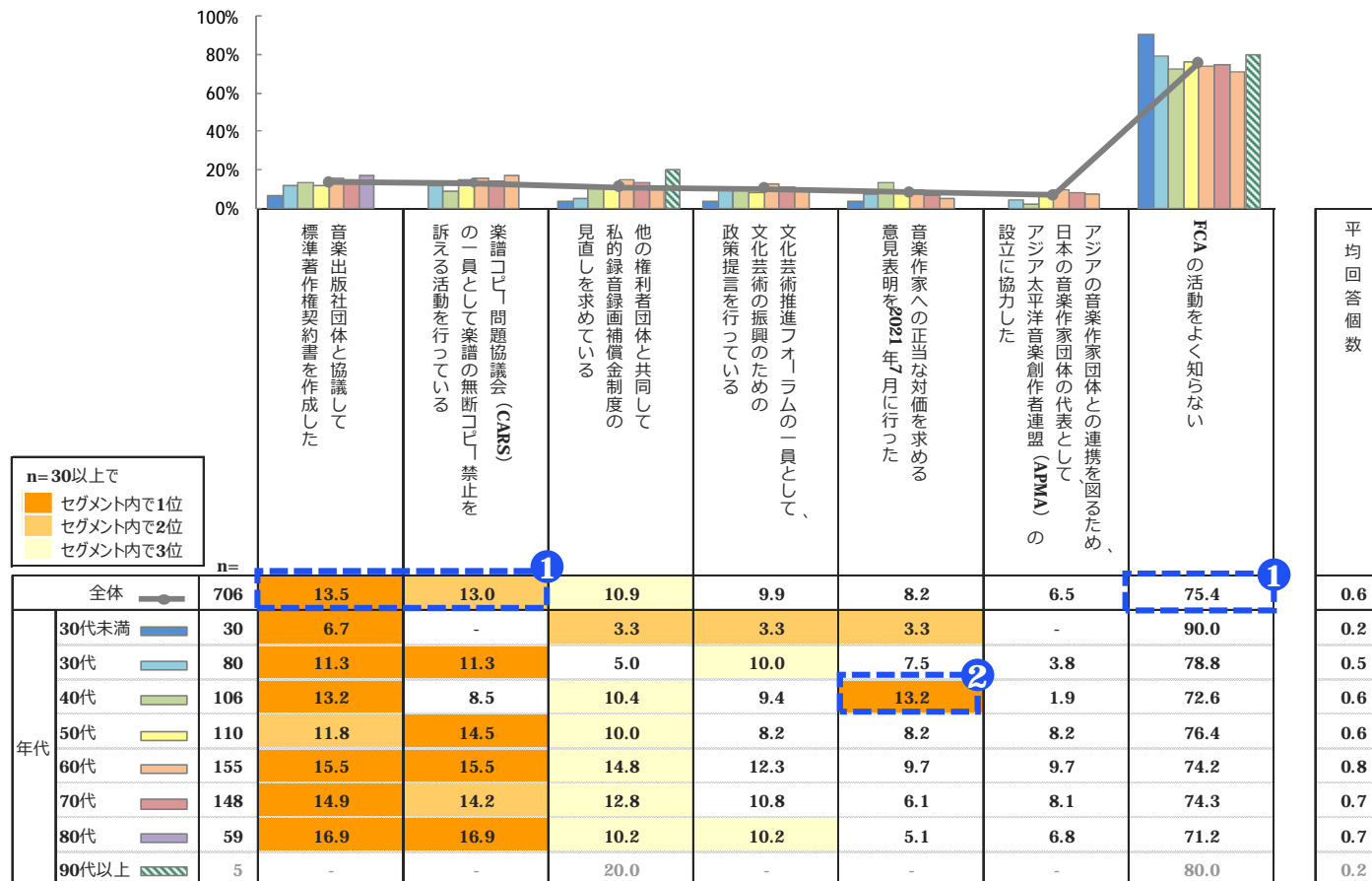
クロス集計 総括

⑦FCAについて (Q19~20) 1 / 2

認知しているFCAの活動について、回答者全体で見ると、「音楽出版団体と協議して標準著作権契約書を作成した」が**13.5%**で最も高く、「楽譜コピー問題協議会の一員として楽譜の無断コピー禁止を訴える活動を行っている」が**13.0%**で続く。また、「FCAの活動をよく知らない」が7割を超える。(グラフ20の枠①参照)

認知しているFCAの活動について、年代別に見ると、**40代**で「音楽作家への正当な対価を求める意見表明を2021年7月に行った」が**13.2%**と、他の年代と比べてやや高くなっているが、全体としては概ね同様で、どの年代でも「FCAの活動をよく知らない」が7割を超える。(グラフ20の枠②参照)

【グラフ20：認知しているFCAの活動】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色。グラフでは斜線。

※全体の値を基準に降順並び替え(排他選択肢を除く)

クロス集計 総括

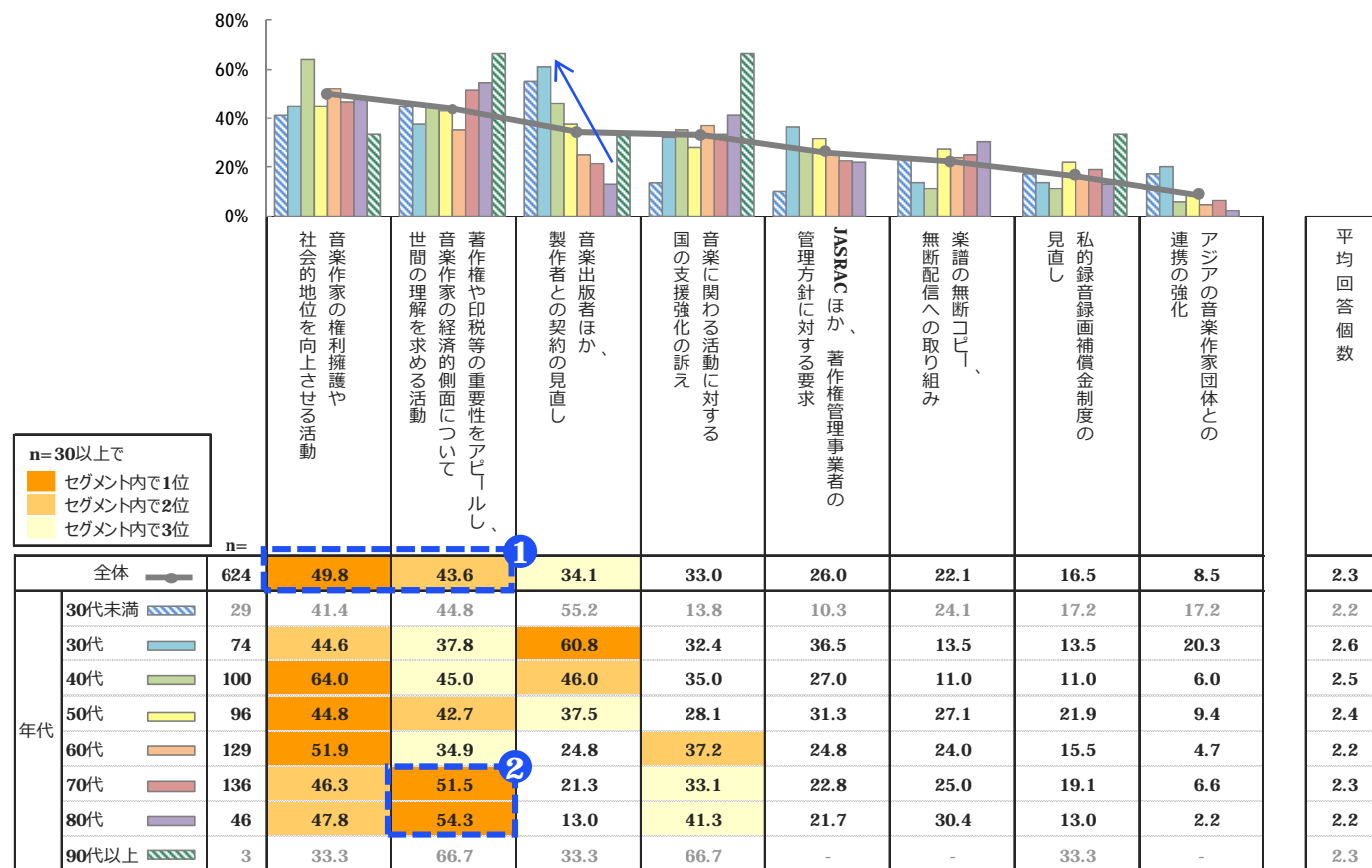
⑦FCAについて (Q19~20) 2 / 2

期待するFCAの活動について、回答者全体で見ると、「音楽作家の権利擁護や社会的地位を向上させる活動」が**49.8%**と最も高く、「著作権や印税等の重要性をアピールし、音楽作家の経済的側面について世間の理解を求める活動」が**43.6%**と続く。(グラフ21の枠①参照)

年代別で見ると、**30代**で「音楽出版者ほか、製作者との契約の見直し」(**60.8%**)が第**1位**で他の年代と比べても**10pt**以上高く、年代が高くなるほど期待する活動としてあげられなくなっている。(グラフ21の矢印参照)

70代・80代で「著作権や印税等の重要性をアピールし、音楽作家の経済的側面について世間の理解を求める活動」がいずれも第**1位**と、特徴的。(グラフ21の枠②参照)

【グラフ21：期待するFCAの活動】



※n=30未満は参考値のため数表では灰色。グラフでは斜線。

※全体の値を基準に降順並び替え



Partnering for your best decisions
すべては、お客様の最良の決断のために

ご注意

※この資料の無断複写、複製、ノウハウの使用、企業秘密の開示などは一切禁じられています。
お取り扱いには十分にお気をつけください。

